

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回野田市立図書館協議会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 令和5年度野田市立図書館事業実施状況報告について（公開） 2 令和6年度野田市立図書館事業について（公開）
日 時	令和6年8月21日（水） 午後1時30分から午後3時5分まで
場 所	樺（けやき）のホール2階 興風図書館会議室
出 席 者 氏 名	委 員 中居 章、鈴木 俊世、石山美代子、佐藤 清美、 村越 健志、倉持 京子、横川しげ子、新田のり子、 河合 章男、横川 徹、三ツ橋淑子、石坂 瑞子 事務局 染谷 篤（教育長） 生嶋 浩幸（教育次長兼生涯学習部長） 加藤 純子（興風図書館長） 宮崎 英男（興風図書館長補佐兼図書サービス係長） 倉持 忠雄（興風図書館庶務係長） 杉山 和明（興風図書館図書サービス係主任主査） 龍野 夏子（興風図書館図書サービス係主査） 真部 仁（興風図書館庶務係主任主事） 正岡 伸介（南図書館長 指定管理者 TRC・日本管財 共同企業体） 深尾 安由（北図書館長 指定管理者 TRC・日本管財 共同企業体） 吉田 正枝（せきやど図書館長 指定管理者 株式会社図 書館流通センター） 高橋 智和（指定管理者 TRC・日本管財共同企業体） 澤田 伊織（指定管理者 TRC・日本管財共同企業体）
欠 席 委 員 氏 名	無し
傍 聴 者	1名
議 事	令和6年度第1回野田市立図書館協議会の会議結果(概要)は、次の とおりである。

1 開会

＜事務局から、会議の成立、会議録作成のための録音、会議の公開に係る傍聴者についての説明並びに会議資料の確認を行う。＞

2 会長挨拶

＜河合会長が挨拶を行う。＞

3 教育長挨拶

＜染谷教育長が挨拶を行う。＞

4 新委員及び新職員紹介

＜事務局から、委員の交代に伴う新しい委員及び人事異動に伴う新しい事務局職員の紹介を行う。＞

5 議事

議長（河合会長）

議題（１）の令和５年度野田市立図書館事業実施状況報告について、事務局から説明をお願いします。

＜事務局から、会議資料に基づき令和５年度野田市立図書館事業実施状況について説明＞

議長（河合会長）

ただ今の説明について御意見や御質問などがあればお願いします。議事録作成のため発言の際はお名前を言っていただくということでお願いします。

議長（河合会長）

２月に図書館の利用登録者数が減った原因は、５年間以上図書館を利用されなかった方の登録を抹消したからと理解してよろしいですか。

興風図書館長

そのとおりです。

議長（河合会長）

20歳代の年齢層の貸出数が大変少ないという説明でしたが、毎年の傾向として、30歳代になれば再び借りるようになるのかどうかについて教えていただきたい。例えば今年20歳代の方が5年経（た）つと、かなりの方が30代になります。そうなったときに、その人たちがまた図書館で本を借りるようになるのでしょうか。それとも、その世代はもう図書館で本を借りないということなののでしょうか。そこがよく分からなかったので教えてください。

興風図書館長補佐兼図書サービス係長

これは令和5年度に限った話ではなく、もう10年20年このような傾向が続いています。流れとして、小学生のときに図書館カードを作って、読書感想文などでいろいろな本を借りられて登録率や貸出率も多いのですが、その方々が中学校、高校と上がっていくと、受験勉強やクラブ活動などで忙しくなり、徐々に本から離れていき、一番離れてしまうのが20歳代です。仕事に就き、本以外にもいろいろ興味があって、休みの日に図書館に来る機会が減ってくるのだと思います。それが30歳代、40歳代になると、また登録率や貸出率が段々と上向いてくるのは、家庭を持って御自身が子供を持つ年代になってくるので、お子さんを連れて絵本を見たいなど、子供と一緒に図書館に来るということを一つのきっかけとして、また家族で図書館を利用してみようかという形で増えてくるケースが見られます。それと、年代的に30歳代、40歳代と年齢が上がっていくにつれて、御自身のライフサイクルも段々と落ち着いてくるので、また本を読んでみようかなという形で図書館の利用が増えていることもあると思われます。

議長（河合会長）

分かりました。30代になれば少し増えてくるということで、多少楽観的に見てもよいということですね。

三ツ橋委員

興風図書館長からネット予約が増加しているということについてお聞きしました。前回の

会議でも同じようなことをお聞きしたのですが、昨今バリアフリーやSDGs（エス・ディー・ジーズ）などが叫ばれている中で、私は資料の検索のしやすさや、アイコンのフォントの大きさ、字体の見やすさの工夫というものが非常に大切になってくると思います。文字がたくさん書いてあると、目で追うことができずに、何が何だか分からなくなってしまう方もいらっしゃると思いますし、お子様の場合は、どこに何があるのかよく分からないということを、小さい子が言っていたということを聞いたことがあります。そういった意味で、大幅なリニューアルというか、見やすさの工夫をどのようにされているのでしょうか。スマホで野田市立図書館のホームページの画面を見た場合、順番に、お知らせ、検索バー、今貸し出しできる本、休館日案内があります。右上にメニューがあり、それをクリックして押すと、おはなし会（プログラム）やヤングアダルト、コミックなどがあり、下の方に、新着資料、貸出しベスト、予約の多い資料、またDVD一覧などが並んでいます。私は、このメニューをクリックしないと違う画面に行かないということに非常に不便を感じています。それから、私であれば、新着資料と、DVD一覧、貸出しベスト、予約の多い資料など、特に自分が見たいものを探したいと思うのですが、1回で目に入ることはなく、自分で押してから下にスクロールするという形になっています。それも一つ一つのアイコンが独立していないので、スマホしか使わない今の若い世代の子にはすごく使いづらいのではないかと感じています。このような現状に対してどのように対応されているのかという点と、今後どうされるのか、何か見通しがあれば教えてください。

興風図書館長補佐兼図書サービス係長

現在お答えできる範囲でお答えいたします。三ツ橋委員がおっしゃった野田市立図書館ホームページのトップページのデザイン作成は、興風図書館の職員が行っています。このデザイン自体に関しては、まずトップページがあり、そこから本の検索などへ行くページがあるのですが、そこは図書館システムを作っている会社が全てデザインを作成しているので、大体どこも同じようなデザインになっていますが、その入り口のところのトップページについては、自治体によっては業者にデザインをお願いしているところもありますが、野田市では前の図書館システムの時分からこれまで、自前でデザインを行っています。その理由はいろいろあるのですが、設計費が掛かるということがあります。インターネットが普及し始めた頃はデザインも割と簡素だったため、ある程度電算関係に詳しい職員であればデザインができたことから、それをそのままこれまで続けてきましたが、始めた時点から10年20年と経過して、ネットの画面自体の構成もかなり変わってきているので、この辺りについては時代的に変える必要があるということを内々では考えています。ただし、今年の秋に予定し

ている図書館システムの更新につきましては、もう契約の続きが済んでおりまして、その中にはトップページをどうするかということは残念ながら入っていません。図書館システムの更新後は、検索画面などが新しいバージョンになるので、少し変わる可能性があるものの、大本のトップページは今のところ大きく変化させる予定はありませんが、三ツ橋委員がおっしゃったことも重々承知していますので、例えば野田市の図書館職員で対応するにしても、御指摘のアイコンであるとか、そういうものをなるべく分かりやすく、文字の少ない形に作り変えていければと思っていますので、少し長い目で見ていただければ有り難いと思います。

議長（河合会長）

全部見たわけではありませんが、全国的に見て、もっと訳の分からない市町村の図書館のホームページもありますので、中より上ではないかと私は思っています。ただ、三ツ橋委員のおっしゃるとおり、専門的なことを調べたい人と、その一方で子供たちも利用するので、それをまずどう切り分けていくかということを含めて御検討をいただければと思います。

三ツ橋委員

図書館に置いてある検索システムは見やすいです。アイコンも分かりやすいし、とても配慮されていると感じています。

佐藤委員

私は北図書館とせきやど図書館で、おはなし会のときに、おはなしボランティアをしているのですが、せきやど図書館のおはなし会は、昨年度子供が来なくて不成立となってしまったことがとても多かったです。しかし、今回の会議資料を見ていると、おはなし会へのトータルの参加人数は出ているのですが、不成立だったということは出ていません。これからおはなし会を盛り上げていくためには、そのようなマイナスの資料も必要だと思うので、成立したおはなし会、不成立だったおはなし会、小学生の参加の有無など、もっと詳しいおはなし会のデータを見ることができたら、おはなしボランティアとしては有り難いと思います。おはなし会の実情がこの数字では分からないので、御検討をお願いします。

議長（河合会長）

付け加えて、実際のおはなし会の状況をお話しいただければ有り難いです。

せきやど図書館長

昨年度のおはなし会ですが、1月以降の成立は少なかったように記憶しています。こちらにつきましては、職員も声掛けや、いろいろと策を練ったところ、今年度になり夏休みをきっかけに子供たちも大分戻ってきたように思います。今後とも不成立が減っていくように努力していきたいと思っています。

佐藤委員

せきやど図書館のおはなし会では、関宿地区の子供の参加がとても少ないです。おはなし会が成立したときに、どこの小学校なのか尋ねてみたところ、尾崎小学校や岩木小学校、清水台小学校など、北図書館の辺りの子供が何人か来ていました。関宿地区の小学校はブッククラブ便があり、関宿の子供は距離的に自力では来館することができないので、そこは仕方ないと思いますが、読書活動がなかなか地味なものですから、そこを盛り上げていくのに図書館がすごく頑張っているのも肌で分かるのですが、もっと学校へ出前に行けるような人員配置なり、図書館に来てもらうばかりではなく、幼稚園に6回出張のおはなし会で行っているように、小学校にも何箇月に1回でいいので、おはなし会に出られるような児童担当者の人数の余裕があるとうれしく思います。もし各図書館で人数が足りないというのであれば、興風図書館の司書たちがいろいろな学校に出向いていただけたらうれしく思います。よろしくお願いいたします。

議長（河合会長）

どこも人員的に大変かと思います。今のことで、せきやど図書館の館長にお聞きしますが、1月以降におはなし会の不成立が多くなった理由は、寒かったからなのか、それともコロナだったからなのか、何か理由があったのでしょうか。

せきやど図書館長

明確な理由とは言えないのですが、確かにコロナやインフルエンザをきっかけにして足が遠のいたという印象はありました。

佐藤委員

コロナとか、そういうことだけではなく、読書する大人が余りいないのかな、本に興味がある大人が余りいらっやらないのかなというように思うのですけれど。

議長（河合会長）

今のことを踏まえて、興風図書館も含めてなのですが、この参加人数は分かりやすく言う
と常連の人数であって、常連の方と一度も来ていない方に市民が分かれているような気がし
ます。多分図書館のイベントを一つも知らないという方が実は多くて、常連の方に何度も図
書館に来てもらうことも重要なのですけれども、もう一方で図書館の存在を知らない方へど
のように啓発していくかという問題の方が、特にせきやど図書館においては大きいと思いま
す。そのためには、佐藤委員がおっしゃったように、図書館の方から出向くというようなこ
とも含めて、何か手を打たないとこの状況は続いてしまうと思います。ただし、人員的にも
大変なのはよく分かっているので、教育長に是非人員の増員をお願いするということを市長
と御相談いただきたいと思います。司書をあと1人2人各図書館に足さないと、この状態は
変わらないような気がするという意見です。どうしても駄目だったらボランティアというこ
とになるのですけれども、ボランティアの募集の話も最近は余り聞きませんが。

佐藤委員

ボランティアは養成講座もありましたし、各図書館に2、3人ずつ新しいボランティアの
方がいらしているので、そこは少しずつ改善してきているのですが、何にせよ図書館に足を
向けてくださらないことが大変なことなのだろうと思います。

議長（河合会長）

まずは図書館の存在を知っていただきたいですね。

石坂委員

今まで伺っていたお話に少しつながるところがあると思うのですけれども、各図書館でい
ろいろな講座や事業を実施していただいて、職員の方たちの御尽力がすごく伝わってきて、
魅力的な内容の事業もたくさんあると思うのですが、それをどのような形で周知広報されて
いるのか少し詳しくお伺いできればと思います。市報や各図書館の掲示板などで拝見しては
いるのですが、会議資料を読ませていただいて、全然知らなかった事業もたくさんございま
したので、興味の薄い方が御存じないまま、せっかくのいろいろな展示や講座等が見過ごさ
れてしまっているのはもったいないと思ひまして、どのような形で発信されているのかお伺
いできればと思います。

興風図書館長

現在の広報活動について、令和5年度においては、石坂委員がおっしゃったように市報掲載が主体で、あとは市のホームページや図書館内への掲示をしています。それと、募集期間内での募集人員の状況によっては、市のまめメールによりお知らせをしています。やはり何の気なしに来るのをつなげるのは市報しかなく、それも大々的に大きく取り上げているわけではなく、市報の最後の方のページにあるお知らせの欄への掲載となるため、市民の方が興味を持って自分自身でお調べいただかないと、なかなか目に留（と）まりにくいいため、いつもそれを見て参加してくださる方は毎回同じ方ということが多いと思います。周知活動は毎回なかなか苦慮しているところではあります。応募方法についてもこれまでは電話や来館だけだったのですが、今年度からは千葉県のかば電子申請サービスを利用して、野田市のホームページからのお申込みも可能になりました。また、担当職員の工夫で、二次元コードを付けたチラシを作成するなど、今年度は少しバージョンアップした形で申込みの方法を少し広げて、気軽にお申込みができるような工夫をしました。

議長（河合会長）

自分がSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）をやっていないため知らなくて申し訳ないのですが、野田市立図書館ではSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用はあるのですか。

興風図書館長

まめメールは、登録した方にメールが届きます。

議長（河合会長）

メールなのですか。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは違うのですが、X（エックス）とか、そういうわけではないですね。

興風図書館長

野田市のそのような登録サイトがあります。

議長（河合会長）

ヤングアダルトへは、やはりSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のX（エックス）であるとか、あの辺で攻めないと、どうにもならないかなという感じがします。

興風図書館長補佐兼図書サービス係長

かなり前からそれは実感しており、特に若い世代にとってはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に存在しないものは世の中に存在しないものと一緒なので、それは分かってはいるのですが、もし図書館で行おうとすると、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は定期的にどんどん配信しないと誰も見てくれなくなってしまうため、それを継続して行うための人的余裕がない。そこで結局話が元に戻ってしまう。やれば効果があるのは重々承知しているのですが、そこまで踏み出せない。しかしどこかでやらなければいけないのは分かっているのですが、申し訳ないことに本当に手が回らないのが実情です。

石坂委員

市報はイベントの周知記事の掲載を申し込むのに、1か月半や2か月も前に申し込まないと載せていただけない。しかし、まめメールであれば、そのイベントの直前にお知らせのメールが入るので、メールの登録さえしてくれていれば、お客さんも来てくださると思うので、まめメールの登録者数を増やした方がいいのかなと思います。

興風図書館長

まめメールも活用して、担当職員が一生懸命頑張って宣伝はしているのですけれども。

石坂委員

とても頑張っていらっしゃいますよ、皆さん。

興風図書館長

ありがとうございます。

議長（河合会長）

逆にアナログの方で、回覧板というのはどうなのでしょう。自治会の班ごとの回覧ですから大変な枚数にはなりますね。

教育次長兼生涯学習部長

そのことについては、自治会の存続と少し関係しておりまして、以前の自治会は皆さんが参加して、どんどん人も集まっていっていったのですが、今は自治会を辞める方もいま

す。コロナの前はよくチラシの回覧をお願いしていたのですが、時代が変わってきて、自治会の負担が大きくなると存続できなくなってしまうというような相談も市として受けています。何でもかんでも自治会へお願いするということではなく、市報で周知できることは市報に載せて全戸配布をお願いする形でやっています。いろいろな団体から行事のチラシを出してくださいと市の方へ御要望を頂くのですが、それを全部受けてしまうと、自治会でそれを仕分して回覧するということが難しいという相談を受けていますので、その辺のバランスを取りながら、やらせていただいているという状況です。

議長（河合会長）

アナログの方が逆に難しくなったのであれば、何とか市の方でSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を考えていただかないと。なくすところがあったら、やはり増やすところもないと縮小になってしまいますから、御一考をいただければと思います。

三ツ橋委員

展示事業として、南図書館では森村誠一さん、北図書館では大江健三郎さんと伊集院静さん、せきやど図書館も伊集院静さんの追悼展示を行っています。追悼企画というのはこれまでも行ってきたかと思うのですが、知らなかった方に知っていただくチャンスというか、そういうコーナーを設けるとするのは、本から遠い方にとっても何が書いてあるのかなというちょっとしたきっかけになると思うので、各図書館において見せ方の工夫とか、どのような作品を展示されたのかについて教えてください。

南図書館長

説明板を作成して展示するとともに所蔵している森村誠一氏の著書を並べました。ただし貸出しが多くて、例えば最初に20冊並べてもどんどん借りられてしまって、見た目として本が少ない時期もありました。なお、比較的最近の著書を多く並べました。

北図書館長

北図書館も南図書館と同様に所蔵している著書を並べました。やはり展示期間の後半になると数も少なくなってしまうましたが、それだけ借りられていたということだと思います。

せきやど図書館長

せきやど図書館では伊集院静さんの追悼特集ということで、南図書館や北図書館と同じよ

うに作者の略歴などと一緒に作品を展示しました。御質問から少しそれるのですが、せきやど図書館は将棋のコーナーが大変充実しておりまして、藤井聡太さんが八冠を取ったときに特集コーナーを3階で行い、貸出しも非常に多かったように記憶しています。

三ツ橋委員

藤井聡太さんの特集コーナーを行ったときは、ふだんと比較してどのくらい貸出しが多かったのでしょうか。

せきやど図書館長

何パーセントというような数字は取ってはいないのですが、貸出しまでは至らなくても本を手にとって御覧になっていた方たちもたくさんいらっしゃいました。

議長（河合会長）

せきやど図書館には将棋関連の本がありますので、そういうものもすごく大事だと思っているので、何とか野田と結び付けて御紹介されるといいかなと思います。せきやど図書館の将棋関連の資料は大事にしていきたいと思います。

議長（河合会長）

ブックスタートの配付数が昨年度よりかなり増えている気がするのですが、手元に昨年度の資料がないのですが、100くらい増えていませんか。少し驚いてしまったのですが、これは赤ちゃんが増えたのでしょうか。興風図書館長が新任の方なので、去年からいらっしゃる職員で記憶のある方がいたら教えていただきたい。

興風図書館長

後ほど担当の職員につながりますが、昨年度1回目の野田市立図書館協議会の会議資料を見ると、令和4年度の最終報告では配付数は727セットとなっています。増えた分については担当の職員から説明させていただきます。

議長（河合会長）

それくらいの増加であつたら普通であると思います。

興風図書館図書サービス係主査

前回の会議資料は令和6年1月末時点の数値であり、一月に60人から70人ずつ増えるため、大体昨年度と同じような数字になるのではないかと思います。

議長（河合会長）

分かりました。いつからいつまでという期間が書いておらず、前回と違う期間では分かりにくいので、その辺りを分かりやすく1年間や半年間の数値を出していただけると比較しやすいと思います。

興風図書館長

分かりました。

教育次長兼生涯学習部長

昨年度の出生数は765人でした。出生届の数ですので3か月児健康相談のときにいらっしゃる方かどうかは分からないのですが、昨年度お生まれになって届けていただいた方が765人で、その前の年度が747人なので、多少増えているという程度です。ちなみに平成27年度は1,011人でしたので、子供の数は大分減ってきている状態になっています。

議長（河合会長）

分かりました。他にございませんでしたら、令和5年度野田市立図書館事業実施状況報告について承認することとしてよろしいでしょうか。

<異議無し>

議長（河合会長）

御異議がないようですので承認することといたします。

続いて議題二つ目の令和6年度野田市立図書館事業について、事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

議長（河合会長）

ただ今の説明について、御意見や御質問などがあればお願いします。

横川委員

興風図書館の催物の欄に記載されている本の福袋について、個人的に面白い取組と思いますが、この事業について興風図書館は今年度も実施を計画しているということによろしいでしょうか。

興風図書館長

はい。昨年度と同様に今年度もこの事業を計画しています。

議長（河合会長）

令和6年度の興風図書館の事業が8月までとなっているのはなぜですか。

興風館長補佐兼図書サービス係長

興風図書館におきましても当然年間の事業計画がありましたが、会議資料の編集段階において意思統一が今一つ取れていなかったため、事業の期日が確定しているものという形で会議資料を作ってしまう、興風図書館だけが8月までとなってしまいました。大変申し訳ございません。

議長（河合会長）

少し違和感がありましたので、次回は1年分の事業を出していただけると有り難い。

佐藤委員

北図書館の催物について、おはなしパレット北では、みんなで楽しむおはなし会というもの今年度2回企画しているのですが、会議資料に載っていないので、イベントに入れていただけてよろしいでしょうか。今年度のみんなで楽しむおはなし会は既に6月9日に行われており、10月20日にも開催を予定していますので、会議資料に入れていただけたら有り難いです。それから、せきやど図書館でも大人のためのおはなし会が11月9日に予定されています。私も参加しますので、是非会議資料に入れていただけたら有り難いと思います。それから、もう一点お願いします。7月7日に南と北の図書館が主催してくださり、スキルアップ講座を行っていただきました。私どもの仲間から、どうしてもブックトークの講座が聴きたいというリクエストをして開催していただいたのですが、暑い最中、講師の先生は自分の荷物を持って、会場に来るときは自分でお調べになってまめバスでいらっしゃったので

すけれども、講座が終了した後、帰りはどうしたものかなという困った感じで立っていたので、駅前までお送りして差し上げました。講師の先生は体調を崩された直後だったので、せめて駅までは送ってあげてほしいなと思います。図書館の職員の方は若いので駅まで歩かれても当然かもしれませんが、重い荷物を持った高齢の講師の送迎は是非お願いをしたいのですが、いかがなものでしょうか。北図書館には車がないのかもしれませんが、そうであれば車をお回しいただけたら有り難いです。お昼頃の熱い最中、講師の先生がとても難儀されていらっしまったので、よろしくお願いします。

議長（河合会長）

2件ございましたが、最初の件は主催者が違うということなのですか。

佐藤委員

主催者は図書館です。

議長（河合会長）

北図書館長の回答をお願いいたします。

北図書館長

会議資料への掲載を失念してしまいました。

議長（河合会長）

載せ忘れたのですね。分かりました。是非載せてください。送迎の件は公用車の問題があつてなかなか難しいと思うのですが、いかがですか。

教育次長兼生涯学習部長

講師の方へお願いした経緯が分かっていないため、軽はずみなことは言えないのですが、基本的には会場に来ていただくというのが一般的です。今回のことは、講師の方と交渉をする際に、最寄り駅からの送迎について確認する必要があつたのかなと思います。その中で送迎を希望されるのであれば、何かしらの手立てをさせていただく。公用車に講師を乗せることは可能ではありますが、例えば費用弁償ということでタクシー代を用意するなど、やり方はいろいろあると思いますので、他の講師の方も含めて次に依頼される際には、よく調整した上で行っていただければと思います。

議長（河合会長）

教育次長のおっしゃる基本の枠組みの中で、各図書館でどう対応するか意思統一していただければと思います。高齢の講師の方も徐々に増えてくると思うので、よろしくお願いします。

佐藤委員

私が駅までお送りをしたのですが、とても暑い日だったので、講師の方は大変だったと思います。自前の本をお持ちになっているため、お荷物が重いのです。来るときは事前に調べてくるので、まめバスの時間も分かっていると思いますが、講座が終わった時間にまめバスが来るのかどうか分からず、少し途方に暮れていらっしゃいましたので、今後は送迎の手立てについてよろしくお願いします。

議長（河合会長）

多分、事故のことがあるので、今は簡単に公用車に乗せられないため、事前にきちんと相談をしておくことが大事だと思います。

三ツ橋委員

南図書館とせきやど図書館のぬいぐるみのおとまり会が、とても素敵だと思います。ぬいぐるみたちが図書館で本を読んだり遊んだりする様子を写真に撮り、その後アルバムにしてプレゼントするという、子供たちがとても喜びそうな素敵な企画だと思います。令和6年度の事業計画として記載されていましたが、昨年度の資料を見ると、図書館にお泊まりしたぬいぐるみのお迎えという、素敵な書き方がされていました。この事業について、どのような盛り上がりであったのかということと、アルバムを作るのも無償でやられているのか、一部費用は負担されているか、それから子供たちの様子がどんな感じであったのかということについて、昨年実施された南図書館と北図書館の感想を教えてください。

南図書館長

アルバムの作成は無償で、お金は頂いておりません。まず、おはなし会を行い、そのときにぬいぐるみを持ってきていただいて、それをそのままお預かりして、そのぬいぐるみが図書館の中で、例えば絵本を読んでいるというような感じの写真を撮り、それを6、7ページのアルバムにして、最後にぬいぐるみをお返しするときに、そのアルバムを一緒に差し上げ

るという形で行い、大変好評でした。作成したアルバムは、私が見る限り結構良い物ができるのだと、そういった物を差し上げることができたので良かったと思います。

北図書館長

北図書館も今年度に入ってすぐの5月に行っています。南図書館と同様に、ぬいぐるみが図書館の中で活動しているような様子、例えば、ぬいぐるみたちが集まっておはなし会に参加しているような様子や、カウンターで本を借りているような様子を撮影して、写真用紙に印刷しアルバムに貼り付けて、お迎えに来ていただいたときに、ぬいぐるみの持ち主に差し上げます。その際に、ぬいぐるみが選んだという体で、例えば熊のぬいぐるみであつたら熊に関連するような本を、このぬいぐるみの子が選んだ本だから借りていってねというような感じで貸出しを行い、好評を頂きました。

三ツ橋委員

アイディアと努力がすばらしいですね。ありがとうございました。

議長（河合会長）

他にございますか。それでは御質問がないようですので、これは計画でございますので承認をするということでよろしいでしょうか。

<異議無し>

議長（河合会長）

それでは御異議がないようですので、承認いたします。本日の議題はこれで全て終了いたしました。事務局から何かございますか。

興風図書館長

今年度から始まる新サービスの御案内をさせていただきます。今年の10月1日から野田市電子図書館サービスが始まります。このサービスは、図書館から距離のある方やこれまで本を読む習慣のなかった方が、インターネットを通じスマートフォンやタブレットを使用して電子書籍の貸出しや閲覧が可能となるもので、気軽に読書につなげられるということになります。詳しいことは今後詰めていく形となりますので、追々お知らせしたいと思います。次に、今年の12月からは新図書館システムが稼働いたします。新システムでは、先ほど三

ツ橋委員から御意見を頂きました全面的な画面のリニューアルはなかなか難しいのですが、新しいサービスが一つ二つ加わる予定であり、利便性の向上のために来館することなくネット上から利用者登録ができる方法を取り入れるようになると思います。新システムへの移行期間は今年の11月20日から30日までとなり、その間は市内の図書館は全館休館となります。こちらの方も逐次お知らせしてまいりたいと思います。なお、休館の期間は電子図書館が稼働していますので、市民の読書活動への継続的な支援が行われます。また、樺（けやき）のホールの空調工事が今年の10月から来年の6月までの予定で行われます。工事期間に冬の寒い時期が入っており、暖房が利用できない期間は図書館を利用される皆様方に御不便をお掛けいたしますが、御理解をいただけるように広報活動をしてまいりたいと思います。これらにつきましては市民の方々への広報活動を市内図書館の窓口や市のホームページ、まめメールなどで少しずつ公表してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議長（河合会長）

ただ今の事務局からの連絡事項は、御了解をお願いします。本日は御苦勞様でございました。これで散会といたします。ありがとうございました。